

# 令和3年度 事業報告書

## 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

軽種馬の資質の向上並びに軽種馬の生産・育成者の経営基盤の安定、強化を図り、競馬の安定的な発展を通じ、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とし、以下の事業を積極的に実施した。

#### (1) 軽種馬の育成調教技術の改善・普及

軽種馬の育成調教技術の改善・普及を図るため、軽種馬生産・育成者等を対象に講演会・講習会を開催するとともに、技術普及誌（BTCニュース）を発行し、育成調教技術向上のための情報を提供することにより、生産地の基幹産業である軽種馬の生産・育成業の活性化を図り、地域社会の発展に寄与した。

- ① 育成技術講演会は生産者・育成者等の技術向上を図るため、9月に東北地区および九州地区において「分娩時に発生するトラブルとその対応」をテーマに、それぞれ日本中央競馬会および（公社）競走馬育成協会との共催で開催したが、北海道地区、関西地区、関東地区については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
- ② 育成調教技術者短期講習会は、育成業務に携わる者を対象に騎乗技術のレベルアップと知識の習得を図るため、秋期（9月～10月）に、各1週間の講習会を計4回実施し、15名が受講した。
- ③ 技術普及誌「BTCニュース」は、馬に関する基礎知識、生産・育成に関する技術および情報等を中心に、読者にわかりやすい内容で掲載し、年4回、各回3,200部発行・配付した。

## (2) 軽種馬の育成調教技術者の養成

軽種馬の生産地等において、育成調教技術者として就労を希望する者に、1年間の研修を通じ、馬に関する体系的な技術・知識（騎乗技術主体）を習得させ、育成調教業務の技術的中核となる人材を養成し、就労の支援を行うことにより軽種馬の生産・育成者の経営基盤の安定、強化を図った。

- ① 令和2年入講の第38期生(20名)は、令和3年4月16日に16名が研修を修了し、軽種馬の生産・育成牧場に就労した。
- ② 第38期修了生のうち成績優秀者を推薦し（公社）競走馬育成協会の軽種馬経営高度化指導研修事業の海外研修に参加する予定であったが、新型コロナウイルス感染症が収束した段階で行うこととなった。
- ③ 令和3年4月19日入講の第39期生（25名）は7月に2名、8月に2名、9月に1名、12月に1名退所したが、19名は順調に受講している。
- ④ 事業の情宣活動を拡充・改善するとともに、体験入学会を7月9日、7月30日（主催 BOKUJOB）、8月20日、8月26日（主催 BOKUJOB）、9月3日、9月9日（主催 BOKUJOB）の計6回実施し、全国より52名が参加した。

また、BOKUJOB事務局（競走馬育成協会ほか5団体）として活動し、「牧場で働こう体験会」（浦河：8月4日・5日）、「BOKUJOB サポートデスク」（静岡県御殿場：全国高校馬術大会7月19日・20日、兵庫県加古川・神戸市：日本学校農業クラブ全国大会10月26日-28日）およびWeb会議ツールZOOMを使用した「BOKUJOB 2021Webフェア（6月12日・13日、6月19日・20日）」等の事業に参画した。なお、例年実施されている「牧場で働こうフェア」（東京競馬場、阪神競馬場、札幌競馬場）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

- ⑤ 令和4年4月入講予定の第40期生については、55名の応募があり、25名および補欠3名を選考した。

## (3) 共同利用に供する軽種馬の育成調教施設の運営・管理及び貸与

日高育成総合施設軽種馬育成調教場を不特定多数の軽種馬生産・育成者に共同利用のために提供し、その利用を通じ、軽種馬の資質の向上とともに経営基盤の安定、強化を図り、生産地の活性化に寄与した。

また、育成調教場利用馬における育成調教の指針や飼育管理に関する情報を、

利用者に提供するための調査研究を実施した。

なお、特定資産取得・改良資金を利用して令和2年より事業を行っていた調教場安全監視システムは10月に竣工し運用を開始した。

また、馴致用発馬機(6月)、馬出入口電動ゲート(7月)の更新を行った。

#### ① 調教場の利用状況

##### イ) 調教責任者の申請承認

調教責任者	43名(法人36名、個人7名)
調教要員	451名(うち外国人230名)
調教用馬	3,953頭(うち利用馬3,374頭)

※調教要員および調教用馬は年間申請数

##### ロ) 利用頭数

利用延頭数	127,961頭(前年比94.9%)
利用実頭数	3,374頭(前年比104.8%)
1日平均	411.5頭(前年比95.2%)
うち日帰り馬	383.8頭(前年比96.1%)
1日の最高利用頭数	706頭(令和3年2月5日)
※調教場開場以来の最高頭数	787頭(平成23年5月3日)
利用料収入	238,693,398円(前年比99.1%)
※内診療収入	46,719,398円(前年比100.7%)

#### ② 馬場および施設等の主な管理状況

##### イ) 屋内トラック馬場

6月と12月にクッション砂の補充を部分的に行ったほか、通年で均一な砂厚調整に努め、良好な状態に管理した。

##### ロ) 1,600mトラック砂馬場

コース中央から外側にかけてクッション砂を厚さ3cm補充し、全面を9cmに管理した。

##### ハ) 800mトラック砂馬場

通年で全面を9cmの均一な砂厚調整に努め、良好な状態に管理した。

##### ニ) 1200・1600m直線砂馬場

各コースとも中央部にクッション砂を厚さ2~3cm補充し、全面を9cmに管理した。

##### ホ) 2,000m芝馬場

本年も2コースに分けて管理を行い、蹄跡補修の目砂に黒土やピートモスを混合することで、芝の活着促進に努めた。また夏場の雨不足の際には、定期的に散水車で灌水し、コースの維持管理に努めた。

へ) 坂路グラス馬場

コース外の芝枯対策として、1万㎡の芝生張替作業を行った。その他芝枯箇所についても耕起・転圧・整正・播種を行い、芝の生育管理に努めた。

ト) 屋内坂路馬場

5月～11月に週に一度、少量のウッドチップを補充（合計5cm厚）および攪拌を行い、良好な状態に管理した。

チ) 屋内直線馬場

8月から9月初旬の安全監視システム設置工事に伴うクローズ期間中、既存のウッドチップを表層から5cm程度スキ取り、旧材と新材の混合材を補充した。また5月～11月に週に一度、少量のウッドチップを補充（合計約5cm厚）および攪拌を行い良好な状態に管理した。

リ) 教育エリア 800mトラック砂馬場

通年で均一な砂厚調整に努め、全面を9cmで良好な状態に管理した。

③ 競走成績

中央競馬 738勝（昨年度 746勝）

うち2歳馬 124勝（昨年度 111勝）

地方競馬 3,157勝（昨年度 3,115勝）

中央競馬のグレード競走 GI：2勝、GII：4勝、GIII：16勝

JGI：1勝、JGII：3勝、JGIII：1勝

地方競馬で開催されたダートグレード競走

GI：3勝、GII：4勝、GIII：6勝

④ 調査研究

イ) 競走馬に多く発生し、競走能力に影響する近位種子骨骨折について、育成馬における骨折の部位や形状ごとの発生状況および予後についての資料の集積を行った。

ロ) 免疫抑制薬であるシクロスポリン点眼薬が有効であった角膜炎症例について、継続的な検査を実施し、それらの臨床症状・治療経過等の回顧的調査を行った。

ハ) 研究成果を以下のとおり公表した。

a) 学会等の発表

「サラブレッド種後期育成馬における近位種子骨骨折の発生状況とその予後に関する回顧的調査」

（北海道獣医師会 令和3年度北海道地区学会）

（日本ウマ科学会 第34回学術集会）

b) 誌上発表

「外眼部疾患の馬から分離された細菌に対するロメフロキサシン  
及び選定された眼科用抗菌薬の *in vitro* 抗菌活性の比較」

(日本獣医師会雑誌 第74巻 第9号 P.547～552)

## 2. 評議員会等

令和3年2月12日

### 第1回 理事会（定例）

開催場所 日本中央競馬会札幌競馬場

決議事項 (1) 令和2年度事業報告及び決算の件  
(2) 第1回評議員会（定時）の開催の件

報告事項 (1) 理事長、専務理事の職務の執行状況  
(2) 財産の運用状況

出席等 決議に必要な出席理事の数3名、出席4名、監事出席1名

令和3年3月16日

### 第1回 評議員会（定時）

開催場所 日本中央競馬会札幌競馬場

決議事項 (1) 令和2年度事業報告及び決算の件  
(2) 評議員選任の件  
(3) 役員選任の件

報告事項 (1) 財産の運用状況

出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席5名、欠席4名、監事出席1名、理事出席4名

令和3年3月16日

### 第2回 理事会（臨時）

開催場所 日本中央競馬会札幌競馬場

決議事項 (1) 理事長及び専務理事の選定について

出席等 決議に必要な出席理事の数3名、出席5名、監事出席2名

令和3年11月24日

第3回 理事会（定例）

開催場所 日本中央競馬会札幌競馬場

- 決議事項 (1) 令和4年度財産の運用方針案及び運用計画案の件  
(2) 令和4年度事業計画及び収支予算案の件  
(3) ホームページリニューアル資金の設定案の件  
(4) 調教場管理用作業機械取得資金の設定案の件  
(5) 調教場電動ゲートシステム回転灯設置資金の設定案の件  
(6) 第2回評議員会の開催の件

報告事項 (1) 理事長、専務理事の職務の執行状況

出席等 決議に必要な出席理事の数3名、出席5名、監事出席2名

令和3年12月11日

第2回 評議員会（臨時）

開催場所 日本中央競馬会札幌競馬場

決議事項 (1) 令和4年度事業計画及び予算の件

出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席8名、欠席1名、  
監事出席2名、理事出席4名

### 3. 事業報告に関する附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。